

—プログラム・抄録集—

第17回 日本保育園保健学会

The 17th Annual Meeting of the Japan Society for Well-being of Nursery-schoolers



はぐくみ、
いっくしむ。

～子どもたちは世界の宝～

🍀 会 期 2011年11月12日(土)・13日(日)

🍀 会 場 岡山コンベンションセンター
〒700-0024 岡山市北区駅元町14番1号
TEL 086-214-1000 FAX 086-214-3600

🍀 会 頭 小田 慈 (岡山大学大学院保健学研究科)

🍀 事務局 岡山大学大学院保健学研究科
〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL 086-235-6901 FAX 086-235-6901

第17回
日本保育園保健学会

はぐくみ、いつくしむ

～子どもたちは世界の宝～

2011 岡山

会頭 小田 慈
(岡山大学大学院保健学研究科教授)

はぐくみ、いつくしむ心を持ちましょう！



岡山大学大学院保健学研究科教授

第17回日本保育園保健学会

会頭 小田 慈

2011年3月11日、我が国を突然襲った大地震、巨大津波そして、原発事故によって引き起こされた大災害は、私たち日本人に想像だにできなかった大きな試練を与えました。多くの人々が打ちのめされました。悲しみにくれました。しかし、その中で、今、再び立ち上がり、より安全な社会を目指して前に進もうとしています。世界中のひとびとが支えてくれました。多くのボランティアの方々の善意が結集されました。私たちは、この世の中にはなんと多くの名もなきヒーローたちがいるということ、そして社会にとって、いかに“絆”が大切かということを実感させられました。私たちが気がつかないうちに、どこかに置き忘れてきてしまっていた、心の中で他人をいつくしむ精神を、思いださされました。

その精神を大切にすべく、第17回日本保育園保健学会は、「はぐくみ、いつくしむ～子どもたちは世界の宝」をメインテーマに企画いたしました。我々おとなたちが、子どもたちに対して一番尊重してあげなければならない「こどもの権利」、そして医療・保健・福祉・教育の枠をこえた、子育て支援や保育現場での協働、保育現場で働く人々や保護者たちの生活の質の問題などを幾つかの角度から取り上げ、子どもたちの目線に立った保育園保健を考えていただく場となれればと願っています。

多くの皆さまに参加していただき、ディスカッションの輪に加わっていただけたら幸いです。

岡山は瀬戸内海と県北に連なる中国山脈沿いに点在する温泉に囲まれ、穏やかな気候の中で近郊の果樹園ではマスカットや白桃などの果物を産する地方都市です。市内には後樂園、少し足を延ばせば倉敷の美観地区など、皆さまの心の憩いになる場所もあります。

岡山の地の滞在を楽しんでいただけたら、幸いです。

第17回日本保育園保健学会日程表

第1日目 11月12日(土)		3F ホワイト
A会場(3F コンベンションホール)		
12:00	受付開始	企業 展 示
12:50	開会式 会頭挨拶 小田 慈(岡山大学大学院保健学研究科)	
13:00	会頭講演 座長:新田康郎(日本保育園保健協議会) 「小児科医は地域に飛び出そう:はあとふるサロンの試み」 小田 慈(岡山大学大学院保健学研究科)	
13:30	教育講演 座長:武田修明(たけだ小児科) 『子どもが突然倒れた!救急車が到着する前に何ができるか』 岡本吉生(岡山大学医歯薬総合研究科小児医科学・京都大学医学研究科社会健康医学予防医療学)	
14:00	基調講演 座長:五十嵐 隆(東京大学大学院医学系研究科小児医学) 「子どもの人権をめぐる諸問題」 石井榮一(愛媛大学大学院小児医学)	
15:00		
15:10	シンポジウム1 「療育が必要な子どもたちと保育」 座長:林 隆(山口県立大学看護栄養学部看護学科) 永井利三郎(大阪大学大学院医学系研究科保健専攻生命育成看護科学) 「乳幼児健診から保育園につなげる支援~乳幼児健診における子育て支援の必要性の判定について」 山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター) 「子どもの身長は教えてくれる。病気も家庭のことも」 久保俊英(国立病院機構岡山医療センター小児科) 「読み書きが苦手な子どもたち:カラーマスとチームアプローチ」 脇口明子(高知大学医学部小児思春期医学・細木病院小児科) 「お母さんが入院した! そのとき、子どものころは……」 井上実穂(独立行政法人国立病院機構四国がんセンター)	
17:10		
17:20	招聘講演 座長:小田 慈(岡山大学大学院保健学研究科) すべての子どもに子ども時間を!クリニックラウン(臨床道化師)の実践報告 塚原成幸(特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会)	
18:20	移動	
18:30	懇親会 (岡山全日空ホテル1F「曲水」)	
20:00		

第2日目 11月13日(日)

	A会場 (3F コンベンションホール)	B会場 (1F イベントホール東)	C会場 (1F イベントホール西)	D会場 (3F 301会議室)	3F ホワイト
9:00	一般演題A-1 9:00～9:40 「保育環境と教育、感染Ⅰ」 座長:帆足英一 (ほあし子どものこころクリニック)	一般演題B-1 9:00～9:50 「健康づくりと子育て支援Ⅰ」 座長:森 恵子 (社団法人岡山県栄養士会)	一般演題C-1 9:00～9:40 「小児医療と保育士、発達障害Ⅰ」 座長:内田陽子 (岡山大学病院西病棟2階 (小児科・小児神経科))		企 業 展 示
	一般演題A-2 9:40～10:20 「保育環境と教育、感染Ⅱ」 座長:近藤仁子 (しろばら保育園/しろばら保育園地域子育て支援センター)	一般演題B-2 9:50～10:40 「健康づくりと子育て支援Ⅱ」 座長:石黒成人 (医療法人福成会 石黒小児科/高知県小児科医会)	一般演題C-2 9:40～10:10 「小児医療と保育士、発達障害Ⅱ」 座長:竹下賀代子 (岡山県保育協議会保育会)		
	一般演題A-3 10:20～11:00 「保育環境と教育、感染Ⅲ」 座長:脇口 宏 (高知大学医学部小児科学)	一般演題B-3 10:40～11:20 「健康づくりと子育て支援Ⅲ」 座長:小野恵子 (岡山県保健福祉部子ども未来課)	一般演題C-3 10:10～10:50 「小児医療と保育士、発達障害Ⅲ」 座長:小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)		
11:00 11:15	特別講演1 座長:塚原宏一 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学) 「京都大学女性研究者支援センター病児保育室感染隔離室設置後一年の現状と問題点」 足立壮一 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)				
11:45	特別講演2 座長:遠藤郁夫 (日本保育園保健協議会) 「今後の保育と行政」 萩原和宏 (厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課)				
12:45 12:55	ランチョンセミナー1 座長:森島恒雄 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学) 「集団生活における感染症対策とワクチンの役割」 庵原俊昭 (国立病院機構三重病院小児科) 共催:ファイザー株式会社	ランチョンセミナー2 座長:寺田喜平 (川崎医科大学小児科学) 「保育園で流行する感染症～胃腸炎はワクチンで予防できる?～」 大石智洋 (新潟大学医歯学総合病院小児科) 共催:グラクソ・スミスクライン株式会社/第一三共株式会社	ランチョンセミナー3 座長:富樫武弘 (札幌市立大学看護学部) 「ワクチンで防ぐ園児の病～Hib感染症とポリオ」 中野貴司 (川崎医科大学附属川崎病院小児科) 共催:サノフィ・パスツール株式会社/第一三共株式会社	ランチョンセミナー4 座長:池田和真 (岡山県赤十字血液センター) 「血友病児のケア～知っておきたい基礎知識」 田中一郎 (奈良県立医科大学小児科) 共催:岡山県赤十字血液センター	
13:45					

第2日目 11月13日（日）

A会場 (3F コンベンションホール)		3F ホワイエ
113:50	総会	企 業 展 示
114:30	日本保育園保健協議会からの提言 座長:清野佳紀 (大阪厚生年金病院)	
115:00	「保育保健の現状、これからやるべきこと」 遠藤郁夫 (日本保育園保健協議会副会長)	
116:45	シンポジウム2 「育児と仕事の両立：園児と保護者のQOLを考える」 座長:片岡仁美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座)	
117:00	「人生はチャレンジャー親も子どもともに育つ」 服部祥子 (大阪人間科学大学)	
116:45	「子育て支援としての医療保育」 宮津澄江 (川崎医短期大学)	
117:00	「大学における病児保育施設の果たす役割」 川畑智子 (医療人キャリアセンターMUSCAT)	
116:45	閉会式 閉会挨拶	
117:00		

講演・シンポジウム・セミナー案内

日本保育園保健協議会からの提言 11月13日（日）14：30～15：00

座長：清野佳紀（大阪厚生年金病院）

「保育保健の現状、これからやるべきこと」

遠藤郁夫（日本保育園保健協議会副会長）

会頭講演 11月12日（土）13：00～13：30

座長：新田康郎（日本保育園保健協議会）

「小児科医は地域に飛び出そう：はあとふるサロンの試み」

小田 慈（岡山大学大学院保健学研究科）

基調講演 11月12日（土）14：00～15：00

座長：五十嵐 隆（東京大学大学院医学系研究科小児医学）

「こどもの人権をめぐる諸問題」

石井榮一（愛媛大学大学院小児医学）

招聘講演 11月12日（土）17：20～18：20

座長：小田 慈（岡山大学大学院保健学研究科）

「すべてのこどもにこども時間を！クリニックラウン（臨床道化師）の実践報告」

塚原成幸（特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会）

特別講演1 11月13日（日）11：15～11：45

座長：塚原宏一（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学）

「京都大学女性研究者支援センター病児保育室感染隔離室設置後一年の現状と問題点」

足立壯一（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

特別講演2 11月13日（日）11：45～12：45

座長：遠藤郁夫（日本保育園保健協議会）

「今後の保育と行政」

萩原和宏（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課）

教育講演 11月12日（土）13：30～14：00

座長：武田修明（たけだ小児科）

「こどもが突然倒れた！救急車が到着する前に何ができるか」

岡本吉生（岡山大学医歯薬総合研究科小児医科学・京都大学医学研究科社会健康医学予防医療学）

シンポジウム1 11月12日（土）15：10～17：10

「療育が必要な子どもたちと保育」

座長：林 隆（山口県立大学看護栄養学部看護学科）

永井利三郎（大阪大学大学院医学系研究科保健専攻生命育成看護科学）

「乳幼児健診から保育園につなげる支援～乳幼児健診における子育て支援の必要性の判定について」

山崎嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

「こどもの身長は教えてくれる。病気も家庭のことも」

久保俊英（国立病院機構岡山医療センター小児科）

「読み書きが苦手な子どもたち：カラーマスとチームアプローチ」

脇口明子（高知大学医学部小児思春期医学・細木病院小児科）

「お母さんが入院した！ そのとき、子どものころは……」

井上実穂（独立行政法人国立病院機構四国がんセンター）

シンポジウム2 11月13日（日）15：00～16：45

「育児と仕事の両立：園児と保護者のQOLを考える」

座長：片岡仁美（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座）

「人生はチャレンジー親も子もともに育つ」

服部祥子（大阪人間科学大学）

「子育て支援としての医療保育」

宮津澄江（川崎医短期大学）

「大学における病児保育施設の果たす役割」

川畑智子（医療人キャリアセンターMUSCAT）

ランチョンセミナー（生涯研修プログラム） 11月13日（日）12：55～13：45

ランチョンセミナー 1

座長：森島恒雄（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学）

「集団生活における感染症対策とワクチンの役割」（A会場）

庵原俊昭（国立病院機構三重病院小児科）

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 2

座長：寺田喜平（川崎医科大学小児科学）

「保育園で流行する感染症～胃腸炎はワクチンで予防できる？～」(B会場)

大石智洋（新潟大学医歯学総合病院小児科）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社／第一三共株式会社

ランチョンセミナー 3

座長：富樫武弘（札幌市立大学看護学部）

「ワクチンで防ぐ園児の病気～Hib感染症とポリオ」（C会場）

中野貴司（川崎医科大学附属川崎病院小児科）

共催：サノフィ・パスツール株式会社／第一三共株式会社

ランチョンセミナー 4

座長：池田和真（岡山県赤十字血液センター）

「血友病児のケアー知っておきたい基礎知識」（D会場）

田中一郎（奈良県立医科大学小児科）

共催：岡山県赤十字血液センター

学会プログラム

第1日 11月12日(土)

- 12:00～ **受付開始**
- 12:50 **開会式** 会頭挨拶 小田 慈 (岡山大学大学院保健学研究科)
- 13:00～13:30 **会頭講演** 座長: 新田康郎 (日本保育園保健協議会)
「小児科医は地域に飛び出そう: はあとふるサロンの試み」
小田 慈 (岡山大学大学院保健学研究科)
- 13:30～14:00 **教育講演** 座長: 武田修明 (たけだ小児科)
「こどもが突然倒れた! 救急車が到着する前に何ができるか」
岡本吉生 (岡山大学医歯薬総合研究科小児医科学・京都大学医学研究科社会健康医学子防医療学)
- 14:00～15:00 **基調講演** 座長: 五十嵐 隆 (東京大学大学院医学系研究科小児医学)
「こどもの人権をめぐる諸問題」
石井榮一 (愛媛大学大学院小児医学)
- 15:10～17:10 **シンポジウム1 「療育が必要な子どもたちと保育」**
座長: 林 隆 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
永井利三郎 (大阪大学大学院医学系研究科保健専攻生命育成看護科学)
「乳幼児健診から保育園につなげる支援～乳幼児健診における子育て支援の必要性の判定について」
山崎嘉久 (あいち小児保健医療総合センター)
「こどもの身長は教えてくれる。病気も家庭のことも」
久保俊英 (国立病院機構岡山医療センター小児科)
「読み書きが苦手な子どもたち: カラーマスとチームアプローチ」
脇口明子 (高知大学医学部小児思春期医学・細木病院小児科)
「お母さんが入院した! そのとき、子どものころは……」
井上実穂 (独立行政法人国立病院機構四国がんセンター)

17:20~18:20 **招聘講演** 座長：小田 慈（岡山大学大学院保健学研究科）
「すべてのこどもにこども時間を！クリニックラウン（臨床道化師）の実践報告」
塚原成幸（特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会）

第2日 11月13日（日）

8:30~ **受付開始**

9:00~11:00 **一般演題**

A 会場

A-1「保育環境と教育、感染Ⅰ」 9:00~9:40

座長：帆足英一（ほあし子どものこころクリニック）

A-1-1 子どもの保健に関して保育者に求められるもの

－保育所・幼稚園の実態調査から－

新潟県立大学人間生活学部子ども学科

○沼野みえ子

A-1-2 保育現場での音環境に関する調査研究(3) ー保育者の意識と地域差ー

北海道保育園保健協議会

○吾田富士子、穴倉廸彌、渡辺一彦、川合洋子、小熊陽子

A-1-3 保育士養成課程科目「小児保健実習」の保育所実習における効果と実習での実践内容

鹿児島女子短期大学児童教育学科

○宇都弘美

A-1-4 乳児保育授業におけるロールプレイ演習の試み

1) 桜美林大学健康福祉学群保育専修 2) 桜美林大学大学院

○野中和代¹⁾、益川順子¹⁾、倉田郁也²⁾

A-2「保育環境と教育、感染Ⅱ」 9:40~10:20

座長：近藤仁子（しろばら保育園／しろばら保育園地域子育て支援センター）

- A-2-5 「小児看護実習の保育園実習を終えて」の看護学生の認識
ーレポートをテキストマインドを用いてー
平成医療短期大学
○松野ゆかり、今井七重
- A-2-6 保育現場における感染症の実態とその対応策
1) 作陽保育園 2) 早稲田大学
○木村千枝¹⁾、中原 舞¹⁾、末田典子¹⁾、有木信子¹⁾、前橋 明²⁾
- A-2-7 健康な乳幼児の集団生活の場である保育園における医療上の問題
ー与薬の取り扱いと登園許可証の取り扱いー 2
札幌市乳幼児園医協議会
○窪田 満、中山雅之、小笠原由法、出村 守、飯塚 進
- A-2-8 保育所感染症対策における看護職の専門性と認識する課題
1) 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
2) 全国保育園保健師看護師連絡会
○松原由季¹⁾、村山志保¹⁾、並木由美江²⁾、上別府圭子¹⁾

A-3 「保育環境と教育、感染Ⅲ」 10:20～11:00

座長：脇口 宏（高知大学医学部小児科学）

- A-3-9 川崎医科大学附属病院 病児保育室における感染対策
1) 川崎医科大学附属病院病児保育室かわさきキッズルーム
2) 川崎医科大学附属病院医療保育室
3) 川崎医科大学附属病院医療保育室
○荒木江玲奈¹⁾、林 典子²⁾、寺田喜平³⁾
- A-3-10 看護師が常駐しない児童デイサービス施設の感染症登園基準の判断徹底ための取り組み
社会福祉法人クムレ
○川端ゆり子、福田里美
- A-3-11 新型インフルエンザ流行時における広島県内小児の対応
ー保護者へのアンケート調査からー
広島県地域保健対策協議会
○新田康郎、堀江正憲、永田 忠、渡邊弘司
- A-3-12 2010/2011年シーズンの川崎市全公立保育園児のインフルエンザワクチン接種とその発症について
1) 川崎市医師会保育園医部会 2) 川崎市立西宿河原保育園
○中島夏樹¹⁾、武藤正之¹⁾、清水 晃¹⁾、金子光延¹⁾、田角喜美雄¹⁾、野矢淳子¹⁾、久保田風生¹⁾、荒井克彦²⁾

B 会場

B-1 「健康づくりと子育て支援Ⅰ」 9:00～9:50

座長：森 恵子（社団法人岡山県栄養士会）

B-1-1 管理栄養士養成課程の臨地実習からみた保育所における管理栄養士業務に関する一考察

美作大学生生活科学部食物学科

○土海一美、宮原公子

B-1-2 幼稚園児と保育園児の朝食摂取に及ぼす生活時間の差異

美作大学大学院

○森本恭子、宮原公子

B-1-3 幼児の身体活動・睡眠時間と食物摂取状況の実態調査

1) 熊本県立大学大学院環境共生学研究科

2) 熊本県立大学環境共生学部熊本県立大学大学院環境共生学研究科

3) 熊本県立大学環境共生学部

4) 尚綱大学生生活科学部熊本県立大学大学院環境共生学研究科

5) 熊本県立大学環境共生学部

○池上由美¹⁾、中嶋名菜²⁾、西脇雅人³⁾、川上育代⁴⁾、松添直隆⁵⁾、北野直子⁵⁾

B-1-4 幼児期の「早寝・早起き・朝ごはん」の実行率と今後の課題

1) 早稲田大学人間科学学術院 2) 早稲田大学大学院

3) 国際学院埼玉短期大学

○前橋 明¹⁾、泉 秀生²⁾、松尾瑞穂³⁾

B-1-5 園児の排便習慣を固定化するための過ごし方

倉敷芸術科学大学

○柚木弘成、中本太一

B-2 「健康づくりと子育て支援Ⅱ」 9:50～10:40

座長：石黒成人（医療法人福成会石黒小児科／高知県小児科医会）

B-2-6 ビジュアルコミュニケーションを活用した子育て支援

○大藤佳子、石井榮一、豊田ゆかり、小野寺清人

特定非営利活動法人ラ・ファミリエ

B-2-7 保育園児の自然覚醒のための生活習慣について

○池上由美¹⁾、中嶋名菜²⁾、西脇雅人³⁾、川上育代⁴⁾、松添直隆⁵⁾、
北野直子⁵⁾

1) 大阪府立大学、岡山大学大学院保健学研究科

2) 岡山大学大学院保健学研究科、岡山大学病院小児科

○三宅孝昭¹⁾、小田 慈²⁾

B-2-8 幼児の起床時の状態からみた睡眠に関する一考察

1) 子どもの健康福祉研究所 2) 国際学院埼玉短期大学 3) 早稲田大学

○佐野祥平¹⁾、松尾瑞穂²⁾、前橋 明³⁾

B-2-9 幼児の生活実態に関する研究 (Ⅳ)

—わが子の生活に対する母親の意識①—

1) 早稲田大学大学院人間科学研究科 2) 早稲田大学人間科学学術院

○泉 秀生¹⁾、前橋 明²⁾

B-2-10 保育園児にとっての望ましい生活習慣について

岡山県立岡山芳泉高等学校

○平松恵子

B-3 「健康づくりと子育て支援Ⅲ」 10:40~11:20

座長：小野恵子（岡山県保健福祉部子ども未来課）

B-3-11 幼児の生活習慣分析に基づいた生活リズム向上戦略の展開 (Ⅲ)

—沖縄県における保育園児と中学生・保護者とのふれあい体操の企画と実践—

1) 国際学院埼玉短期大学 2) 早稲田大学人間科学学術院

○松尾瑞穂¹⁾、前橋 明²⁾

B-3-12 タッチケアの効果的要因 —育児態度に関するアンケート調査をもとに—

1) 京都ノートルダム女子大学大学院、松江総合医療専門学校（心理学）

2) 京都ノートルダム女子大学大学院

○石黒香里¹⁾、萩原暢子²⁾

B-3-13 絵本『ちょっとだけ』を使った母親への子育て教育の試み

芳珠記念病院小児科

○多賀千之

B-3-14 母親への子育て教育における継続性の試み

芳珠記念病院小児科

○多賀千之

C 会場

C-1 「小児医療と保育士、発達障害Ⅰ」 9:00～9:40

座長：内田陽子（岡山大学病院西病棟2階（小児科・小児神経科））

C-1-1 休日夜間急患センター小児科受診の状況について

- 1) 岡山大学大学院保健学研究科
 - 2) 岡山大学大学院保健学研究科、岡山大学病院小児科
- 新沼正子¹⁾、小田 慈²⁾

C-1-2 急性期病院小児病棟における保育士の活動

独立行政法人国立病院機構岡山医療センター
山田恵美

C-1-3 小児入院病棟における保育支援の現状

財団法人倉敷中央病院
増田絵里子

C-1-4 こども・家族を支援する入院見付き添い保育

神鋼病院小児科（兵庫県立淡路病院小児科）
○木藤嘉彦、高山志穂

C-2 「小児医療と保育士、発達障害Ⅱ」 9:40～10:10

座長：竹下賀代子（岡山県保育協議会保育会）

C-2-5 小児患者に対するMedical Preparation、学生としての試み

- 1) 川崎医科大学附属病院小児科
 - 2) 川崎医科大学医学部
- 荻田聡子¹⁾、倉田一成²⁾、西信俊宏²⁾、井上蓉子²⁾、澤木 了²⁾、
杉原桃子²⁾、前田憲士²⁾、井上智香子²⁾、片上大輔²⁾、松原美有²⁾、
橘 美帆²⁾

C-2-6 重度の障害をもつ子の発達を捉え、仲間と共感し認め合う保育を目指して。

本福寺保育園
西川亮子

C-2-7 特別支援教育時代の保育士の業務上の負担感について

山口県立大学大学院健康福祉学研究科
○吉兼伸子、林 隆

C-3 「小児医療と保育士、発達障害Ⅲ」 10:10～10:50

座長：小枝達也（鳥取大学地域学部地域教育学科）

C-3-8 発達障害児支援研修と保育士の現状

学校法人旭川荘旭川荘厚生専門学院

○林 基子

C-3-9 保育園における排泄の問題－小児科との連携－

1) 岡山大学大学病院小児科 2) 岡山大学大学院保健学研究科

○岡田あゆみ¹⁾、小田 慈²⁾

C-3-10 保育場面で気づかれにくい子どもに対する、理解と支援の為の提案

－SSTグループでの取り組みから－

1) 広島県立障害者療育支援センター 2) 比治山大学短期大学部

○森本しおり¹⁾、脇田佑子¹⁾、大野智美¹⁾、七木田方美²⁾

C-3-11 岩国市発達支援事業の有用性

国立病院機構岩国医療センター小児科

守分 正

11：15～11：45 **特別講演 1** 座長：塚原宏一（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学）
「京都大学女性研究者支援センター病児保育室感染隔離室設置後一年の現状と問題点」
足立壯一（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻）

11：45～12：45 **特別講演 2** 座長：遠藤郁夫（日本保育園保健協議会）
「今後の保育と行政」
荻原和宏（厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 保育課）

12：55～13：45 **ランチョンセミナー（生涯研修プログラム）****A会場 ランチョンセミナー1**

座長：森島恒雄（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学）

「集団生活における感染症対策とワクチンの役割」

庵原俊昭（国立病院機構三重病院小児科）

（共催：ファイザー株式会社）

B会場 ランチョンセミナー2

座長：寺田喜平（川崎医科大学小児科学）

「保育園で流行する感染症～胃腸炎はワクチンで予防できる？～」

大石智洋（新潟大学医歯学総合病院小児科）

（共催：グラクソ・スミスクライン株式会社／第一三共株式会社）

C会場 ランチョンセミナー3 座長：富樫武弘（札幌市立大学看護学部）

「ワクチンで防ぐ園児の病気～Hib感染症とポリオ」

中野貴司（川崎医科大学附属川崎病院小児科）

（共催：サノフィ・パスツール株式会社／第一三共株式会社）

D会場 ランチョンセミナー4 座長：池田和真（岡山県赤十字血液センター）

「血友病児のケアー知っておきたい基礎知識」

田中一郎（奈良県立医科大学小児科）

（共催：岡山県赤十字血液センター）

13：50～14：30 総会

14：30～15：00 日本保育園保健協議会からの提言 座長：清野佳紀（大阪厚生年金病院）

「保育保健の現状、これからやるべきこと」

遠藤郁夫（日本保育園保健協議会副会長）

15：00～16：45 シンポジウム2 「育児と仕事の両立：園児と保護者のQOLを考える」

座長：片岡仁美（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座）

「人生はチャレンジー親も子どもともに育つ」

服部祥子（大阪人間科学大学）

「子育て支援としての医療保育」

宮津澄江（川崎医短期大学）

「大学における病児保育施設の果たす役割」

川畑智子（医療人キャリアセンターMUSCAT）

16：45～17：00 閉会式